

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370600484
事業所名	グループホームへいわ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 法人が町内会に加入し、回覧板で地域行事の情報を得て、学区の敬老会や浴衣姿で盆踊りに出かけたり、小学校での運動会や学芸会に参加している。ヨガや太極拳、詩吟、尺八等デイサービスのボランティア訪問時には一緒参加したり、落語や楽器演奏のボランティア訪問もある。公園や買い物を兼ねた散歩では地域住民と挨拶を交わし、喫茶店で休憩することもある。中学生の体験学習や専門学校、ヘルパー講座の実習生も積極的に受け入れている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 会議は年4回、民生委員、家族、医師、福祉専門学校の先生、理事長、管理者が参加し建物3階で開催している。状況や活動報告に加え自由に意見交換がされている。毎年3月はホームで入居者と「おこしもの」作りをし、和やかな交流の場となっている。市の実地指導を受け、来年度は年間5～6回開催し、いきいき支援センター職員に協力を要請し、次回(3/3)参加の回答を得た。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市町村との連絡は管理者が行い、相談した際にはアドバイス等をもたらしている。報告書類はFAXや郵送している。市から講習会や研修の案内は届くが、内部の体制作りを優先し参加には至っていない。必要性は感じており、今後は積極的に参加したいと考えている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 面会時や家族面談では何でも話しやすい雰囲気努め、年1回、家族交流の場「家族の会」を開催し、意見や要望はサービスの質の向上に活かしている。法人の「おたより」と別に毎月、ホーム便り「喜泉」で、写真とともに入居者の生活ぶり、行事の様子、職員紹介、次月の予定等を詳しく記載し、郵送している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	×			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。